



NARRATIVE BOOK AKITA
ナラティブブック秋田

一般利用者の方へ

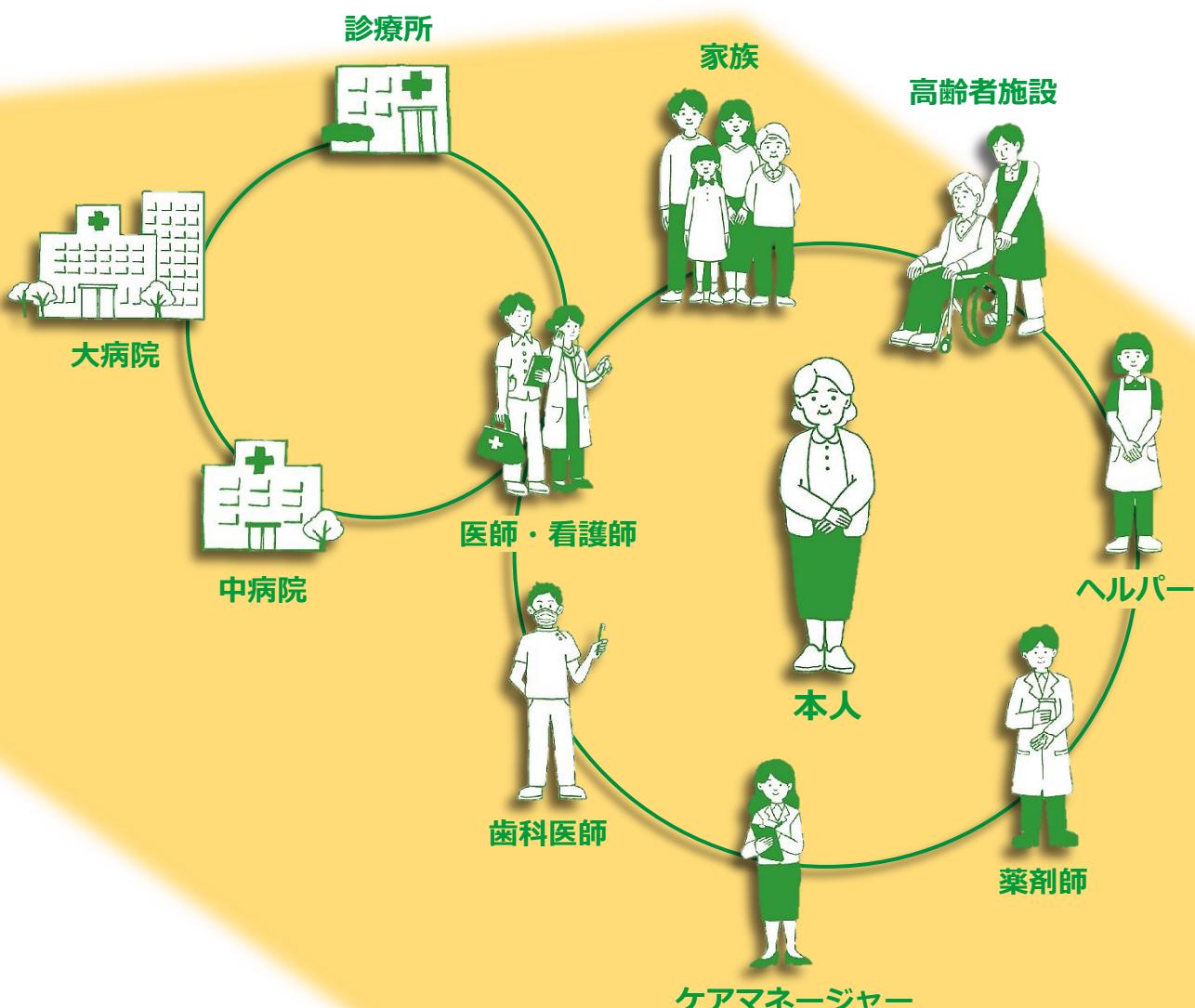


ナラティブブック
NARRATIVE BOOK

在宅医療・介護 ICT 連携促進事業

ナラティブブックとは

患者さんが自分の情報を管理することが基本です。
そこに「信頼できる地域の医療・介護・福祉関係者が持っている情報」を集約し、
すべての情報を共有する「コミュニケーションのための仕組み」です。



GOOD DESIGN AWARD 2018
BEST 100

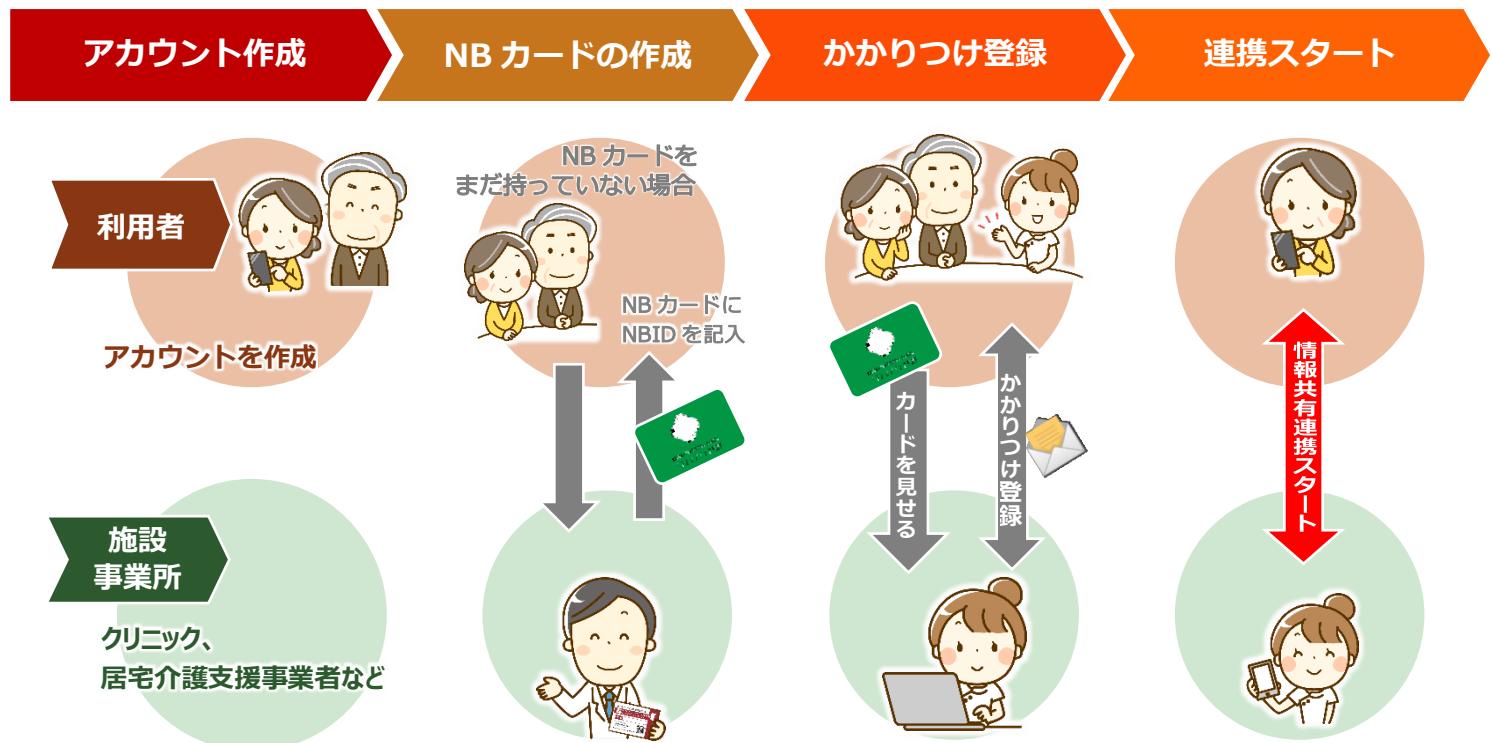


GOOD DESIGN AWARD 2018

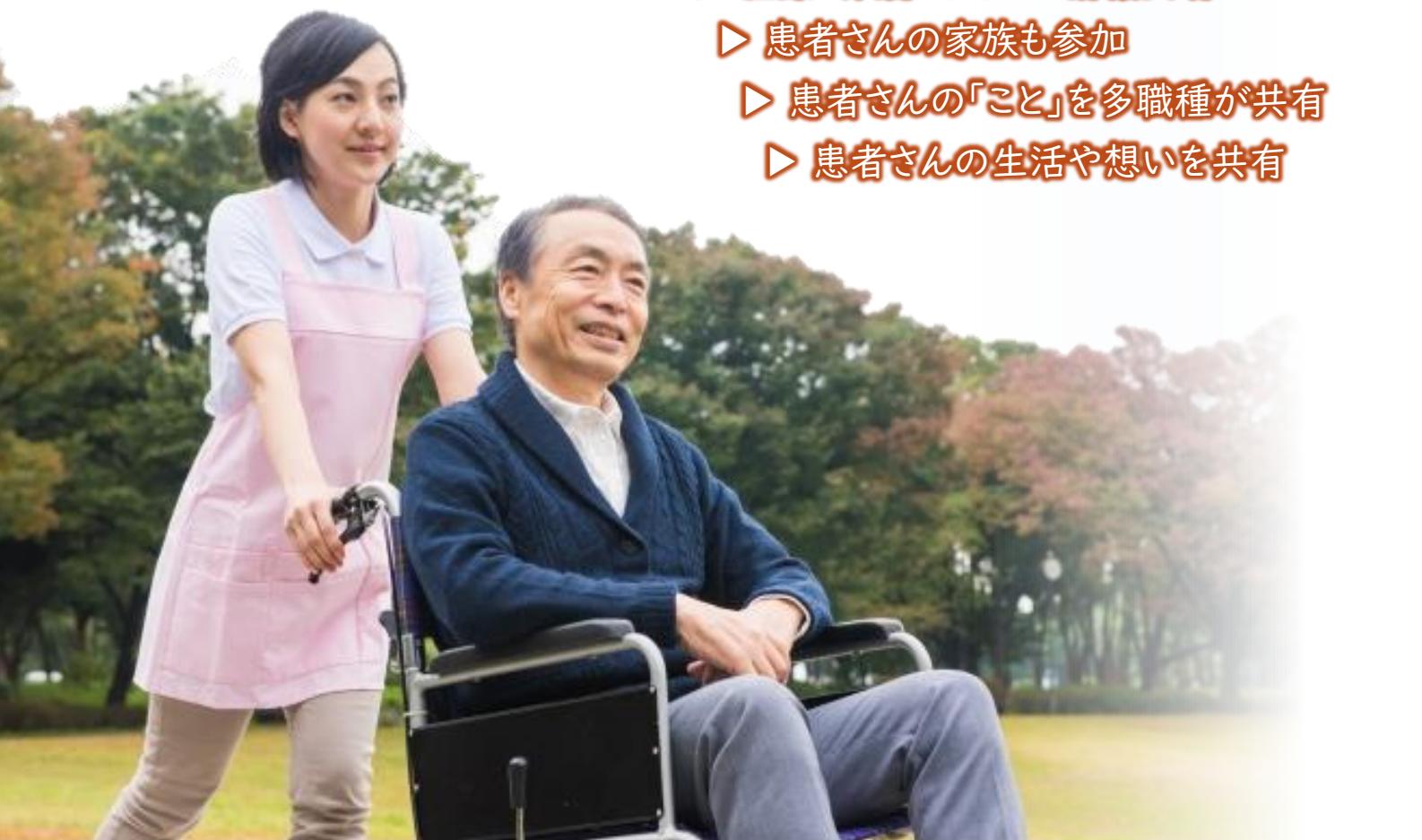
グッドフォーカス賞 [地域社会デザイン]

ナラティブブックは、今、脚光を浴びる「非対面・遠隔コミュニケーション」システムのひとつです。

コンセプトは —— 「寄り添うこと」



- ▶ 医療・介護スタッフと情報共有
- ▶ 患者さんの家族も参加
- ▶ 患者さんの「こと」を多職種が共有
- ▶ 患者さんの生活や想いを共有



「ナラティブ」=「ものがたり」と「語り」を中心に

地域包括ケアの実現には

地域包括ケアの実現には、地域に住まう方が、“自分らしい暮らし”を継続していく環境作りが必要です。患者さん自身の生き方や想いを支え、“生きる”ための支援には、患者さんを中心とした情報の共有とその方の生活へのフィードバックが欠かせません。

また、効率的で効果的な医療や介護サービスの提供には、患者さんに個別最適化された処置とコミュニケーションが求められます。一方的な情報伝達、指示、報告ではなく、共有した情報を患者さんの生活に還元できるような仕組みを構築することが求められています。

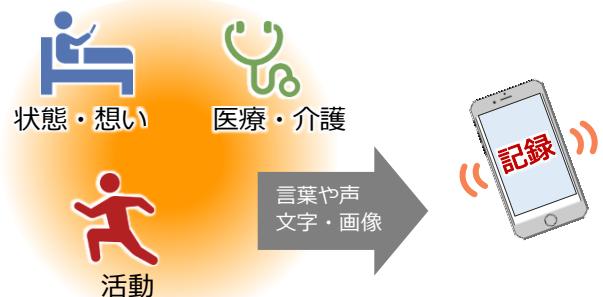
ナラティブブックで地域包括ケアの実現

ナラティブブックのアドバンテージ

- ① 自分が主体となって情報を管理できる
- ② 自分の「ナラティブ」を記録できる
- ③ 自分と自分が許可した医療・福祉・介護従事者が記録できる
- ④ 自分の想いが伝わる



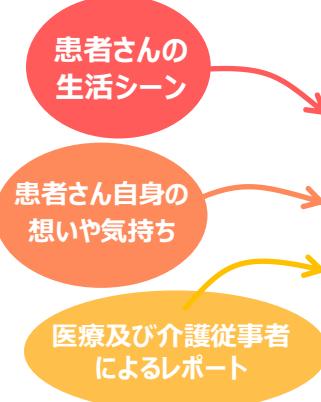
ナラティブ：「ものがたり」と「語り」を記録



生活と治療を自宅で継続するために大切な情報の共有

家族や医療・介護従事者は、患者さんの気持ちに添った支援をするために、ご本人の想い、気持ちを聞きたいと思っています。また、日々の生活や治療を理解しないと、患者さんに寄り添えません。

生活と治療をみまもるために共有したい情報は、患者・家族、医療福祉介護従事者の声を集めた「**共有したい情報**に関する報告書」にまとめられています。



【情報共有の効果】 自宅での暮らしが見える

- ▶ 本人の納得
- ▶ 家族の安心
- ▶ 従事者の学びと喜び



ナラティブブックへの声

【自分の治療や介護について】

- ・ 不安に思っていることを先生方に知っておいてほしい。
- ・ 今後の治療や介護に対しての希望を先生方みんなに知っておいてほしい。
- ・ 病気や治療方針のことを教えてほしい。
- ・ その時々で、気を付けなければいけないことなどを教えてほしい。

など



【家族の治療や介護について】

- ・ 家族の病気や介護のことを相談したい。
- ・ 病気や介護のことをもう少し教えてほしい。
- ・ 家族の想いや負担を知っておいてほしい。
- ・ 人生で頑張ってきたことや苦労したこと、本人の性格などを知っておいてほしい。

など





医療・介護スタッフと情報共有

患者さんに関わる人たちとご本人・ご家族を交えてコミュニケーションが取れます。



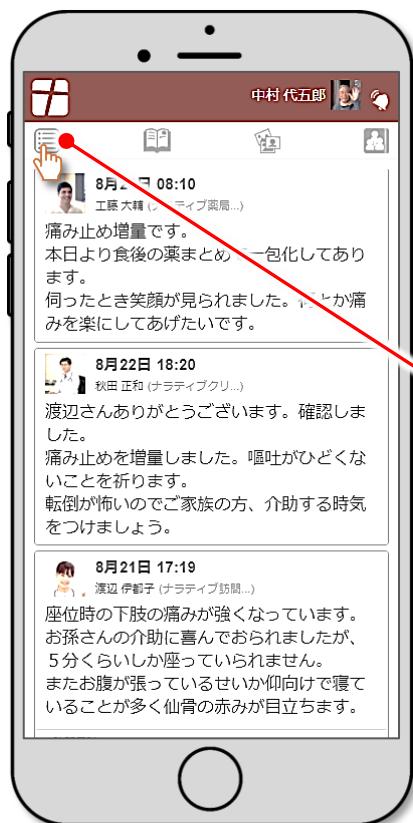
みまもっている家族や
医療・介護スタッフを
一覧で見ることができます。



患者さんの家族も参加

遠くにいたり、帰りが遅かったりして、
なかなか連絡の取りにくい家族とも、
日常の何気ない連絡を取ることが出来ます。





患者さんのことと 多職種が共有しておきたい事

症状のことや体調のこと連絡事項などを多職種で共有します。

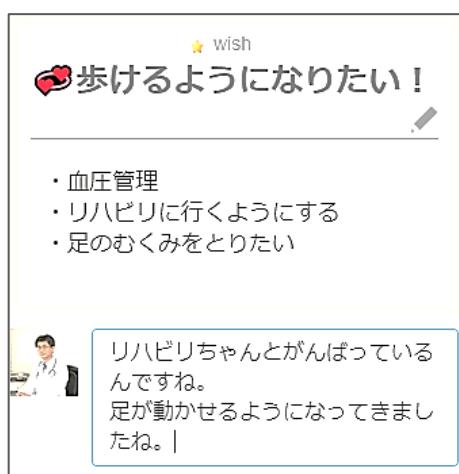


必要な情報は掲示板に
書いておけます。



患者さんの生活や想いを共有する

患者さんそれぞれに合った医療・介護のために、患者さんの想いや夢、希望、治療の目標について、みんなで書いていき目標を共有します。





の使い方



タイムラインボタン

タイムラインが表示されます
“困った時もここをタッチ”



画面切替え

画面が小さい端末では、画面を切替えて表示します。

The screenshot shows the main application window with three main sections:

- 掲示板 (Bulletin Board):** On the left, it displays a list of posts categorized by tags (nudge, wish, info, etc.). A red box labeled "4" highlights a post from "nudge".
- タイムライン (Timeline):** In the center, it shows a chronological list of posts from various users. A red box labeled "5" highlights a post from "wish".
- 家族・かかりつけ (Family & Doctors):** On the right, it lists family members (岡崎 こい, 岡崎 あい, 山田 良江) and affiliated organizations (一丁目クリニック, 二丁目訪問看護, 三丁目薬局, 寄り添い居宅介護).

←掲示板→ ←タイムライン→ ←家族・かかりつけ→

1 “タグ”で記事を集めれる

タグを選んで記事を集めることができます。

2 “投稿者”で記事を集めれる

投稿者を選んで記事を集めることができます。

3 “カレンダー”で記事に飛ぶ

カレンダーで選んだ日付の記事に飛ぶことができます。

4 nudge (ナッジ)

“ナッジ”とは……“さりげないおせっかい”的事です。

関係者で、注意して確認しておいてほしい投稿を掲示板に貼り付けられます。

掲示板に貼り付けられたナッジをタップすると、タイムラインの投稿に移動して全文が見えます。

5 wish (ウィッシュ)

利用者の想いや夢、希望、治療の目標を書きます。

自動でタグも作成されます。

wishに投稿を書く場合は、wishを開いて書き込むか、タグを選択してください。

6

info (インフォ)

利用者さんに関わる基本的な情報を記録し共有することができます。

	info ↑
緊急時連絡先	
良江（娘） 090-8877-6655	
あい（妹） 080-6644-8765	
△お薬 △経路 □主な病気(慢性疾患など)	
□主な病気(慢性疾患など)	
労作性狭窄症 大腿部骨折	
△お薬 △経路 □主な病気(慢性疾患など)	
アレルギー歴	

7

返信

返信をタップして、投稿に対して返信を書くことができます。

返信があった投稿にはリンクが張られるので返信をまとめて見ることができます。

8

会話表示

会話を通して観ることができます。



写真から探す

投稿した写真の一覧を表示

写真をタップして写真を拡大表示

9

をタップしてこの写真を載せた記事を表示



FAQ

Q1 どうやって使うの？

それぞれの地域の「ナラティブブック運営母体」のホームページに、ナラティブブック利用の入口があります。上記リンクページにある「一般利用者用（生活者）ログインサイトはこちる」からお進みください。
はじめての方は新規登録ボタンをクリックして、利用登録を行います。
パソコンなどを用いて、ご自身で利用登録ができない場合は、かかりつけのお医者さんにご相談ください。



Q2 必要な機器は？

ナラティブブックを見るためには、インターネット環境に接続できる機器が必要です。

- ① Windows PC の場合：推奨 Web ブラウザは Google Chrome です。
- ② Mac PC の場合：推奨 Web ブラウザは Safari と Google Chrome です。
- ③ iPad、iPhone の場合：推奨 Web ブラウザは Safari です。

※ 必ず、コンピューターウィルス対策を行ってください。

Q3 気軽に相談するには？

ナラティブブックを利用されているケアマネージャーさん、かかりつけのお医者さん、薬剤師さん、訪問看護師さんにご相談ください。

お問い合わせ

ナラティブブック秋田への参加のお申し込みは、お近くのナラティブブック秋田参加施設の先生にお尋ねください。
(参加施設はホームページでご確認いただけます。)

その他わからないことがありましたら、一般社団法人秋田県医師会事務局までお問い合わせください。

〒010-0874 秋田県秋田市千秋久保田町 6 番 6 号 秋田県総合保健センター4階
TEL : 018-833-7401 (代) FAX : 018-832-1356

秋田県医師会 > ナラティブブック秋田

URL : <http://www.akita.med.or.jp/nb-akita/>



NARRATIVE BOOK AKITA
ナラティブブック秋田